

## 5 救急概要

増加を続ける救急出動件数や多様化する救急需要に対応するため、救急ワークステーションを軸とした医療機関との緊密な連携や高度な救急隊員の教育体制により、救急業務の高度化に努めています。

### (1) 救急救命士の有資格者数

【第74表】救急救命士の資格取得状況

(令和6年4月1日現在)

区分	救急救命士有資格者数	気管挿管認定	薬剤(アドレナリン)投与認定	ブドウ糖投与認定	CPA前静脈路確保認定
人数	176人	102人	167人	156人	156人

(注) 救急救命士有資格者数は、就業前病院実習を修了し、北九州地域救急業務MC協議会の認定を受けた救急救命士の総数である。



### (2) 応急手当の普及啓発

【第75表】応急手当普及啓発状況

区分	(令和5年度)										(※スクール救命士のみ)		
	平成6年度より										平成24年度より		
	普通救命講習			上級救命講習	救急講習	普及員講習		指導員講習		合計	スクール救命士		
I	II	III			新規	再講習	新規	再講習	小学校		中学校	高校	
開催回数	132 (27)	0	14	9	490	4	11	1	2	663	127 (131)	72 (72)	2 (37)
受講者数	2,649 (362)	0	433	218	25,015	114	309	1	2	28,741	7,796	7,991	188
合計(開催回数)	146			9	490	15		3		663	201		
合計(受講者数)	3,082			218	25,015	423		3		28,741	15,975		
延受講者数	383,021			8,610	551,649	9,915		1,160		954,355	190,032		

(注) 1 普通救命講習( )は実技救命講習で内数  
 2 スクール救命士( )は全校数  
 3 スクール救命士について、小・中学校は救急講習、高校は普通救命講習Iにそれぞれ含む。